



ふれあいひろば

[患者とともにある全人的医療]

年頭のご挨拶

新潟市民病院
広報委員会



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

2021年より始まったインフレのため物価が高騰し、国民生活にも深刻な影響が出ています。新潟市民病院も社会情勢と同じく材料費、経費、給与費の大幅な増加により2024年度の決算では赤字となりました。病院事業会計は公定価格である診療報酬で決定され、2年に1度の改定のため今年度も赤字となる公算が大きいです。

新潟県立病院、新潟県厚生連病院群も赤字額が大きく危機的な状況です。地域医療確保のためにも一刻も早い物価高騰に対応した診療報酬改定を望みます。

当院の新規高度専門医療についてですが、ハイブリッド手術室が完成し、経カテーテル的大動脈弁留置術（TAVI: Transcatheter Aortic Valve Implantation）を開始しました。

大動脈弁狭窄症とは、心臓の左心室と大動脈を隔てている弁（大動脈弁）の動きが悪くなり、重症では狭心症、失神、心不全症状が現れます。原因は加齢による動脈硬化で、65歳以上の罹患率は2～3%、80歳以上で重症大動脈弁狭窄症患者罹患率は約7%と推定されています。当院では10月までに55例TAVIを実施し、年間70例強の症例数となる見込みです。

カテーテルによる低侵襲治療のため、早期の退院が可能です。失神発作などの症状が出現すると急速に予後不良となることから、早めの治療をおすすめします。

2025年度より呼吸器外科専門医が赴任し、呼吸器疾患の外科治療を開始しました。原発性肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、気胸、外傷に対する手術治療を行っています。

原発性肺癌に対しては胸腔鏡下肺切除術を行い、低侵襲であるため短期滞在で退院されています。原発性肺癌は手術後の化学療法を呼吸器内科で実施し、呼吸器外科と連携して治療を行っています。

前立腺癌、消化器癌（食道癌、胃癌、直腸癌、脾臓癌、肝臓癌）に対して手術支援ロボットシステム（ダビンチ手術システム）による手術を行っており、8月までに1,300例強実施し、これらの癌の標準手術となりました。前立腺癌は436例と最多で、最近では脾臓癌、肝臓癌にも積極的に行うようになりました。

ロボット手術は低侵襲で短期滞在の入院となります。複数回の手術既往のある場合適応とならないこともあるため専門医にご相談ください。

高齢社会に対応するため低侵襲高度専門医療を推進していますが、これからも当院の基本目標である、「ぬくもりのある医療」を提供し、市民の期待に応えていきたいと思います。平常時には新潟県の高度専門医療のトップランナーを維持し、パンデミックや災害医療など有事の際には完全対処できるオールハザード対応の病院づくりを目指します。

新潟市民病院長 大谷哲也



ハイブリッド手術室の完成と大動脈弁狭窄症に対する 経カテーテル的大動脈弁留置術（TAVI）治療開始から1年が経過しました

高度先進医療センター長 尾崎 和幸

2024年10月、当院においてハイブリッド手術室の運用を開始しました。ハイブリッド手術室とは、手術台と心血管エックス線撮影装置を組み合わせた手術室であり、従来は別々の場所に設置されていた手術室機能と心臓カテーテル室機能を一体化することで、より高度で安全な医療の提供を可能にします。

ハイブリッド手術室の運用開始に伴い、当院では2025年1月より大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁留置術（TAVI: Transcatheter Aortic Valve Implantation）を開始しました。

TAVIは大動脈弁狭窄症に対する新しい治療法で、開胸や人工心肺を使用することなく、主に大腿動脈（足の付け根の動脈）よりカテーテルを使って人工弁（TAVI弁）を心臓内に留置する治療法です。

侵襲が小さいことが特徴であり、順調な経過をたどれば治療翌日からの歩行も可能です。大動脈弁狭窄症は高齢者に多い疾患であり、身体的負担の少ないTAVIは全国的に普及しています。当院では2025年の1年間で61名の患者さんにTAVIを実施しました。

2026年以降もTAVIをはじめとする構造的心疾患に対する新たなカテーテル治療の充実を図り、新潟市における循環器診療の発展に貢献してまいります。



図1.完成したハイブリッド手術室



図2.TAVI弁の留置前の位置決め



図3.TAVI弁の留置



図4.TAVI弁留置後

心臓リハビリテーションってなに??

リハビリテーション技術科 理学療法士 宮坂 昭彦

心臓リハビリテーションとは

「心臓リハビリテーション（心リハ）」は、狭心症や、心筋梗塞、弁膜症、心筋症などの心臓の病気を患った方を対象としています。包括的なリハビリテーションを通じて、日常生活を、より良く過ごすことを目標とっています。

心リハを行うためには、次のような厳しい基準を満たす必要があります。

- ・医師・理学療法士・看護師の必要人数や経験等の要件が細かく定められている
- ・心リハの実施中、急変対応ができるよう要件を満たす医師の配置が義務付けられる
- ・治療を行うための機械・器具の設置 など

心臓リハビリテーションの目的

心臓の病気で入院すると、医師の指示で、数日間の安静となります。安静期間が終わると病室内を歩けるようになり、数週間で退院する患者さんがほとんどです。

「もう歩けるし、入院前と同じように動けるのにリハビリが必要なの？」と思う方が多いと思います。しかし、病気の発症と安静により、体力は患者さんの想像以上に落ちています。適切な運動療法によって、体力を回復し、維持することが重要です。

また、病気の再発を防ぐためには、薬の服用とともに、「病気の根本」を改善することが重要です。心リハでは、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士など多職種がチームを組み生活習慣指導を行います。患者さんが、退院後に安心した生活を送れるよう、様々な支援を行っていきます。

運動療法について

適切な運動の種類や強さ・頻度・量は、人によって大きく異なります。心リハでは、心電図や血圧・心拍数を、専門のスタッフが常に確認しながら運動強度を調整します。

だらだら汗をかき、激しい息切れをする運動では、負担にしかなりません。病気の発症によって低下した体力が回復し、維持できるよう、安全・適切な運動療法を行います。

生活習慣指導について

運動療法以外にも、心臓に関する病気の再発を予防するため生活習慣指導を行います。薬や食生活のアドバイス、日々の運動、メンタル面など、個々の患者さんに合わせた様々な指導を行います。

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士、リハビリスタッフなど様々な職種が連携し、それぞれの専門性を発揮していきます。「心臓」だけでなく「体」をより良くするための生活を患者さんと一緒に作るプログラムです。

心臓リハビリテーションを行うことで、病気の再発のリスクが減るだけでなく、健康寿命が伸びることもわかっています。生活習慣の改善とともに、「病気になったからこそ、正しく運動する」ことが大切です。



心臓リハビリテーション室の様子

免疫力を高めるための食事の工夫

栄養管理科 東海林 佳奈

冬真っ只中、皆様いかがお過ごしでしょうか？感染症の流行など体調を崩しやすい時期にはなりますが、皆様が健康に過ごせるよう、免疫力アップにつながる「腸活」についてご紹介します。

腸活とは？

腸内環境を整えるための生活習慣全般を指します。食事、運動、ストレスケアなどを通じて、腸内細菌のバランスを整えることで、健やかな腸内環境を保つ取り組みです。

腸と免疫の関係とは？

私たちの身体には、外から侵入する細菌やウイルスを撃退する防御システムが備わっています。これを免疫といい、様々な免疫細胞がこの役割を担っています。免疫細胞のうち約7割が腸に集まっており、腸は免疫に関与する重要な臓器であると考えられます。

プロバイオティクス



「発酵食品」に含まれる
ビフィズス菌、乳酸菌、納豆菌など・・・

ビフィズス菌	例) ヨーグルト、チーズ
乳酸菌	例) ヨーグルト、チーズ、納豆、キムチ、味噌
納豆菌	例) 納豆

→ 食品から摂取する有用菌は、腸に定着しないため、継続的な摂取が必要

いつもの料理をアップデート！～組み合わせ例～

例) ヨーグルト+果物、納豆+オクラ、みそ汁を野菜・海藻・きのこで具沢山に

当院のホームページにも、バックナンバーを掲載しています。

新潟市民病院 ふれあいひろば

検索

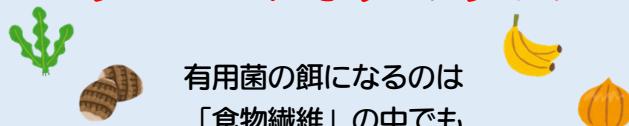
免疫力を高めるための食事の工夫

腸には多種多様な菌が存在します。新しい菌と古い菌が入れ替わり、常に変化しながらより良い作用を生み出すような腸内環境が理想とされています。偏った食事で同じものばかり摂取していると菌の種類も偏ってしまうため、できるだけ様々な食材を取り入れることを意識できるとよいでしょう。

また、「腸活」に有用とされる工夫の1つに「シンバイオティクス」という考え方があります。

これは腸に良い菌をとる「**プロバイオティクス**」と、腸内に良い菌を増やす**「プレバイオティクス」**を組み合わせて摂取する方法です。それぞれ単体で摂取するのに比べて相乗効果が期待でき、腸内環境をより効率良く整えることができると考えられています。

プレバイオティクス



有用菌の餌になるのは
「食物繊維」の中でも
「水溶性食物繊維」と「難消化性オリゴ糖」

水溶性食物繊維	例) オクラ、ブロッコリー、ほうれん草、海藻、キノコ、こんにゃく、里芋、果物
難消化性オリゴ糖	例) 玉ねぎ、ごぼう、ねぎ、大豆、バナナ

ぬるぬる・ねばねばの食感



発行元：新潟市民病院 広報委員会

新潟市中央区鐘木463番地7 Tel 025-281-5151